

国際教育交流派遣事業を終えて

磐梯町立磐梯中学校長 青柳茂宏

今回の国際教育交流事業の参加を終えて、派遣団の団長としてご挨拶申し上げます。

まず始めに、8月3日～8日まで6日間、我々引率者2名を含め本校生徒9名、計11名をカナダに派遣いただき、ホームステイを中心とした貴重な国際交流体験させていただいたことに感謝申し上げます。

また、磐梯町と姉妹都市であるカナダ、オリバー市の皆さんの優しさにや心温まるおもてなしに触れ、感動の連続であった交流となりましたこと併せてご報告いたします。

さて、この6日間、生活環境の違いを肌で感じながらも、雄大な自然の中での様々な活動を体験し、充実した日々を過ごすことができました。

その中でも、片言の英語で何とか理解してもらった感動や達成感は忘れることのできないものとなるでしょう。「勇気を振り絞って相手に思いを届けようとすれば、気持ちが通じ合うこと」を身を持って体験することができました。

また、派遣後生徒の中には「また、外国に行ってみたい」「また、国際交流をしてみたい」「将来、英語を生かした仕事に就きたい」などの思いを持つことができた生徒も数多くおりました。

このような今回の経験が、磐梯町の教育の目標である自分の「夢の実現」を目指す上で大きな影響を与えてくれるものとなることを確信しています。

今後も、オリバー市との交流がさらに発展していくことをご期待するとともに、改めて、今回このような貴重な機会を与えていた町当局及び町教育委員会、町国際交流協会の皆様に心より感謝申し上げます。御礼の挨拶とさせていただきます。